

## ○視覚的支援の工夫

役割を分けて書くことができるワークシートや動作化を通しての支援

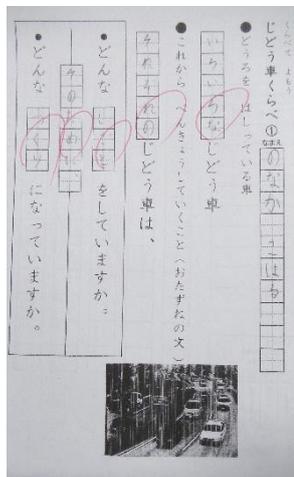
【なぜこの支援が有効になるのか】

1年生「くらべてよもう『じどう車くらべ』」は、児童の興味・関心の高い自動車を取り上げた説明文である。本教材は、「問い→答え→答え」という列挙型の構成になっている。しかし、大切な言葉に着目して読み取ることができない児童もいる。そのため、単元全体を通した課題が分かるワークシートを作成し、掲示した。また言葉だけではイメージしにくい部分を模型や動作化で補うことで理解しやすくなる考えた。

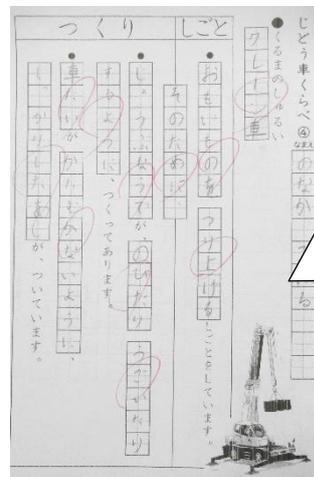
〈支援・指導の実践例〉 1年生 国語「くらべてよもう『じどう車くらべ』」

### 1. ワークシートの工夫

- ・キーワード（大切な言葉）を書きやすいリード線付きのますにした。
- ・教科書の問いや接続詞が呼応するように配列した。
- ・拡大した物を掲示して振り返りしやすくした。



【1枚目のワークシート】



【クレーン車でのワークシート】

クレーンがかたむかないようにしっかりしたあしがついているので驚きました。  
(まともより)

### 2. 模型や動作化の実践

【クレーン車の模型】

伸びたり縮んだりする丈夫な腕＝指示棒



重い物をつり上げることを見覚的にとらえさせた。

【クレーン車の動作化】



自分の腕を伸ばし、足をしっかり踏ん張って腕を伸ばしてみた。

わたしは、クレーン車にじょうぶなうでがあることをしりませんでした。：クレーン車がどんなつくりになっているか、はじめてしりました。(まともより)